

音楽科学習指導案

平成30年6月26日(火) 第5校時 音楽室

授業学級 1年B組(40名)

授業者

指導教諭

1 題材名 「情景や気持ちを感じ取って、美しい日本語で歌おう」(歌唱・1年)

2 主眼

『浜辺の歌』の表されている情景や心情を考える場面で、音のつながり方や強弱、8分の6拍子に着目して考えたり、歌い試したりして、気持ちを表す演奏方法を見付ける事を通して、8分の6拍子やAとBのフレーズの音のつながり方の違い、強弱の変化を生かした表現で歌おうとすることができる。

3 展開

段階	学習活動	予想される生徒の反応 (太字はキーワード)	◆学習内容 ◇教師の指導・援助	時間	備考
はじめ	1 学習問題を確認し、学習課題を設定する。	ア 綺麗だなあ。この浜辺を歩きながら、昔を思い出して、歌詞を書いたのだろうか。	◆写真で情景を示し、歌詞の内容を説明し、イメージを膨め『浜辺の歌』を歌い、学習課題を確認する。	10分	TV ワークシート 黒板 ピアノ
		学習問題：作曲者の成田為三さんは、『浜辺の歌』で、どのような情景や気持ちを表現したのだろうか。			
		イ 伴奏の形が、まるで波のようだ。強弱の<>や、音符の形も、波を表しているのではないかな。	◇伴奏では、どのような情景や気持ちか、表れているか問う。		
		ウ 「風の音よ 雲のさまよ」はそこまでとは伴奏の形が違うようだ。	◆いやウのような意見から、その場面を範奏してイメージと音との関わりを確認し、学習課題を設定する。		
なか	2 曲の特徴を捉え、その特長を感じて歌う。	エ 歌の音符の動きは、最初と最後は一緒だけど、真ん中が違うね。強弱のフレーズの高低の差も大きくなっているよ。	◇範唱し、気持ちを表している部分を問う。	25分	パワーポイント
		オ 「風の音よ 雲のさまよ」は伴奏の形も大きく、音も高くなって、fだから気持ちは高まっていると思う。「昔のことぞ」は思い出しているからpなのではないかな。	◆音符の玉同士を線で結び、音のつながり方を確かめたり、強弱を線で表し、盛り上がり方を確かめたりして、その特徴を捉えて歌い、それがどのような気持ちを表しているか考える。		
		カ 4拍子だと、硬い雰囲気だ。8分の6拍子の方が波の雰囲気がする。	◇8分の6拍子と4分の4拍子の違いを範奏して示した後、波を感じながら歌う。		
		キ 強弱は意識できたけれど、ブレスで音のつながりが途切れてしまう。	◆リスナー役を設定して演奏する。リスナー役は、気持ちを表せているかを観点に聴き、改善点を考える。		
か	3 気持ちを表す歌唱方法を考える。	ク 4小節を1つのフレーズとして感じれば、途切れて聞こえなくなった。	◇明らかになった課題点に対して、発声や言葉の発音、呼吸法など必要な点を技術指導する。	12分	
		本時の評価基準に達しなかった生徒への手だて 音の上行や音が強くなった時にどのような気持ちを表していると思うか共に考える。			
		ケ 「風の音よ…」の、強弱と音のつながり方が大きくなったところで、気持ちの高まりを表現できた。	◆作曲者が、情景や気持ちを表している場面とその表現方法について振り返り、全体で発表し合う。		
		コ 今後も、強弱や音のつながりに注目すれば、情景や心情を考えることができそうだ。	◇追求の中で見えてきたこと、今後に生かせそうなことをまとめ、題材のまとめとする。		
まとめ	4 本時のまとめを行う。			8分	

5 反省